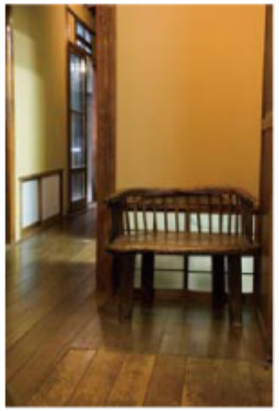
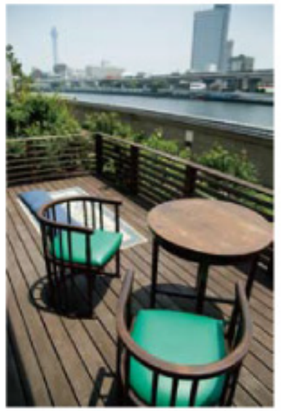
# 浅草下町ギャラリーの おさんぽねこさん





カフェスペースは東京スカイツリーが見えるオープンテラスが人気。和菓子付きのお抹茶セットがおすすめ。

浅草橋駅から徒歩5分のところに実に趣のある素敵なギャラリーがある。昭和の流行歌手「市丸（江戸小唄の市丸姐さん）」の隅田川沿いの屋敷を改装した建物なのだとか。こちらのギャラリーでは染物や陶芸、工芸品などの企画展を行なっている。6月取材時には、江戸型染作家の小倉充子さんの夏きもの展が開催。すいかが描かれた夏らしい「瓜づくし」や、粋な江戸の風景にねこの妖怪が描かれた「白所妖怪」など、ストーリーが伝わってくるような惹きこまれる作品ばかり。

さて、こちらのギャラリーには素敵な通いねこがいるという。名前はよもぎちゃん。昨年からこのギャラリーに遊びにくるようになった。今ではほぼ毎日のようにゴハンを食べにくるそう。そんなよもぎちゃんも4匹のこねこのお母さんになった。今度お邪魔する時にはギャラリーの中庭はにぎやかになっているかもしれない。

ギャラリー2階にはカフェスペースがある。オープンテラスからは東京スカイツリーが見える。和菓子付きのお抹茶セットを頂きながら、隅田川を眺めれば、忙しい日常から解放されたゆるやかな時間が流れる。



## ルーサイトギャラリー

住所：東京都台東区柳橋1-28-8
TEL：03-5833-0936
「浅草橋」駅（JR東口・都営浅草線A6出口）から徒歩5分

# 浅草下町ギャラリーの おさんぽ・ねこさん

撮影／中川文作



粋な江戸の風景にねこの妖怪が描かれた『百所妖怪』など、今回始めてねこをモチーフにしたそう。

ルーサイトギャラリーで行なわれた江戸型染作家・小倉奈子さんの『夏きもの展』。今回展示された浴衣にはねこモチーフも。

こちらは化粧道具が描かれたもの。紅の色合いも美しい。